

大網白里市図書室から みなさんにおすすめ

よんだことある？

小学校 1・2 年生

『はたらく校長先生』

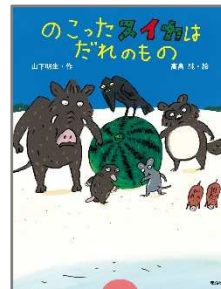


吉田亮人/写真
矢萩多聞/文 創元社

この小学校の校長先生は校長室のいすにずっとすわってはいません。みんなといっしょにじゅぎょうをたのしみ、きゅうしょくをたべ、そうじて、がっこうのなかを上へ下へ。

したしみやすい校長先生の 1 日を写真でしょうかいします。

『のこったスイカはだれのもの』



山下明生/作 高畠純/絵
理論社

うみのそばのはたけにのこされた、ちいさなうらなりスイカ。そこへネズミ、カラス、イノシシと、どうぶつたちがつぎからつぎへとやってきた。どうぶつたちがみつけたスイカは、さいごにはどうなるのかな？



『勇士アフマド イランのおかしな話』 愛甲恵子/文 網代幸介/絵 BL 出版

村のわかもののアフマドは、おちょうしもの。ある日、ふざけて自分のおに「勇士アフマド」とほってしまいました。やがて、その名が王さまの耳にとどき、アフマドはひめとけっこんして、となりの国とのたたかいに行かなければならなくなります。

アフマドと国は、どうなるでしょう。イランのゆかいなお話はなしてす。

『どうぶつたちのおひっこし』

～どうやってはこぶのかな？～



平山暉彦/さく 福音館書店

どうぶつえんのどうぶつたちも、とおくのどうぶつえんにおひっこしすることがあります。

くびのながいキリン、ほそいあしやくびのフラミンゴ、どうもうなトラ、とびはねるカンガルー、おくびょうなコアラ。どうぶつたちがケガをしないように、どうやってはこぶのか、しいくいんさんのくふうをみてみよう。

『てんてんきょうだいとまるねえちゃん』

山田慶太/文 田口麻由/絵
ポプラ社



なんでも「まる」をつけたがる「まるねえちゃん」がとうじょうし、たのしいことばのやりとりがはじまります。

ことばに「てんてん」や「まる」をつけてたのしむえほんで、きごう 1 つでことばのいみがわかるおもしろさを、たのしいおとでつたえます。

『うっかり書房』 そのだえり/作 理論社



ワオキツネザルのワオくんは、本が大すきなうっかりやさん。うっかり本をかいすぎて、じぶんのいえにすめなくなってしまいました。

そこでワオくんは、じぶんの本をいろいろな人によんでもらうために、「うっかり書房(しょぼう)」という本やさんをはじめます。

さて、おきゃくさまはきてくれるのでしょうか？

『千びきおおかみ 日本のこわい話』

筒井悦子/再話 太田大輔/絵 こぐま社

商人が山の中で夜をあかすことになり、木の上で休むことにした。ところが夜中になると、おおかみがぞろぞろと木の下にあつまってきた。



おおかみのせなかに、もう一匹のおおかみがあがり、長い長い“おおかみばしご”をつくって商人に食いつこうとしてきたが…。

ぜんぶで6つの日本のこわい話。

『へんしんみず!』 川村康文・小林尚美/構成・文 遠藤宏/写真 岩崎書店



きみは、まいにち水をつかっているけれど、手でつかんだことはある？さわられるけれどつかむのはむずかしいよね。きみは、水がこおりになったり、きえてなくなったりすることを知っている？

水がいろいろなかたちにかわるようすを見てみよう！

『すききらい』

中川ひろたか/作 かわしまななえ/絵 アリス館

ぼくがきらいなものは、なす、カラス、あたまをあらうこと。おとなは、すききらいしちゃだめっていうけど、きらいなものをすきになれるかな？

でもきらいなものでもすきになればたら、せかいはひろがるかもしれない。



たくさんの「すき」と「きらい」の中で、くらしていることについてかんがえてみるえほん。

『にこにこモンツキカエルウオ』



黒部ゆみ/写真・文
フレーベル館

あたたかいさんごしょうの海にすんでいる『モンツキカエルウオ』のモン太。カエルみたいにギョロっとした目玉とわらったように見える大きな口、体長10センチの魚のモン太。モン太はゆうきをだして、もんちゃんにプロポーズ！ぶじにけっこんすることができるかな。

いのちのたんじょうとせいめいのつながりをつたえる本。

図書室には勉強に役立つ本以外にも、さまざまな分野の本をそろえています。また、図書室ホームページから、利用登録（貸出券作成の申込み）や本の予約もできます。詳しくは、図書室ホームページをご覧ください。

大網白里市図書室

検索



大網白里市図書室HP

2026.7

大網白里市図書室 0475-72-8383 (保健文化センター2階)

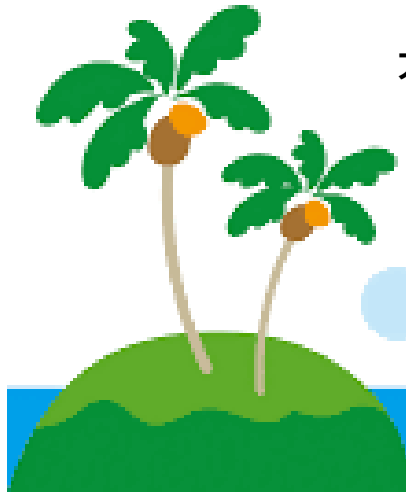
中部分室 0475-73-3337 (中部コミュニティセンター1階)

白里分室 0475-77-2172 (白里公民館1階)

大網白里市図書室から みなさんにおすすめ

よんだことある？

小学校3・4年生



『わたしの夏、牧場で』 堀直子/作 羽尻利門/絵

新日本出版社

小学校4年生の夏瞳は、夏休みの自由研究の題材にしようとお母さんの働いている牧場に友だちと見学に行きました。



そこは牧場ではなく、乳牛のたくさんいる牛しゃで、病気の牛もいました。夏瞳は、病気の牛を元気にしてあげたい、と行動します。

『たおれる？たおれない？ 3本あし』



かんちくたかこ/文 北村裕花/絵
菊地灯/原案 講談社

ピアノをひくときに足をおく台がこわれて3本足になっちゃった。でも、足をのせても、がたがたしない。どうして？

ふしぎに思った女の子は、たくさん実けんして、とうとう3本足のすごいひみつを発見しました。小学4年生の自由研究からうまれた、発見することの楽しさを体けんできる本です。

『保護犬チャンスとロボット犬 ドッグタウン物語』

キャサリン・アップルゲイト&ジェニファ・チョールデンコウ/作 尾高薫/訳 偕成社

3本足の犬のチャンスは、犬の保護施設(しせつ)「ドッグタウン」でくらしています。新しく来たロボット犬のメタルヘッドは、ほかのロボット犬とちがい家に帰ろうとしていました。それを知ったチャンスは、親友のマウスとメタルヘッドの脱出を手伝います。

チャンスの目線でえがく、犬とロボット犬と人間との物語です。



『みつばちのルビー』 前田まゆみ/作 アリス館



ルビーは、他のみつばちより少し小さい女の子。ルビーがたまごの時からお話がはじまり、お姉さんばちから食べ物をもらって大きくなりました。そして、はたらきばちに成長したルビー

は、他のはちといっしょに花のみつをとったり、こわい虫と戦ったりします。

みつばちのことを、絵と文でくわしく知ることのできる本です。

『ワニわらう 内田麟太郎詩集』

内田麟太郎/詩 村上康成/絵

グジャレやことばあそびの詩にくすくすわらったり、「少年・ガザ」の詩にかんがえなくなったり、だれかと話したくなる詩がたくさんっています。



絵本「おれたち、ともだち！」のお話を考えた人、内田麟太郎(りんたろう)さんの詩集です。

『クラゲのくらし』 水口博也/著 少年写真新聞社



水族館でも人気のクラゲは、今からおよそ5億年前に地球上に登場し、太古の海から生きつづけてきました。

クラゲには脳も心臓も筋肉もありませんが、さまざまな環境にあわせて多くの種

を生みだし、世界の海で繁栄(はんえい)している動物になったのです。

そんなクラゲたちのくらしを美しい写真で紹介します。

『ミラーさんちのころころころがるおひっこし』

デイヴ・エガーズ/文 ジュリア・サルダ/絵
青山南/訳 化学同人

その昔、銀山を買い取って大金持ちになったミラーさんという人がいました。愛する妻・アニーのためりっぱな家を建てましたが、ミラーさんはとつぜん亡くなってしまいます。のこされた息子と家を守るため、アニーはどうするのでしょうか？

1870年代のアメリカ・アイダホ州で、本当にあったおはなしです。



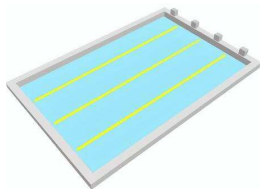
『探知犬ものがたり』 有島希音・速渡普土/文 文研出版



麻薬探知犬(まやくたんちけん)、警察犬(けいさつけん)、災害救助犬(さいがいきゅうじょけん)など「探知犬」と呼ばれる犬がいる。人にはわからないにおいを手がかりに、きけんなものを見つけたり、行方不明になった人を探すのだ。

探知犬の仕事や訓練、引退した後の様子をしょうかいした実話。犬と人とのしんらい関係や、働く動物の大切な役わりについて知ることができる。

『およぐ!』 麻生かつこ/作 大庭賢哉/絵 文研出版



運動は得意なのに、水泳は大きらいな歩夢。

それなのに、水泳大会のクラス対抗リレーのメンバーに選ばれてしまった!「泳げない」

なんてカッコ悪くて言えない歩夢は、水泳教室に通いはじめる。

めざせ、クロール 25 メートル!目標にむかってがんばる男の子のおはなし。

『ゆびでたどる進化のえほん』



三上智之/監修・文
わかさきしゅんいち/絵 KADOKAWA

今から約40億年前の地球のどこかで、さいしょの生命がうまれました。生命のはじまりから、人間のたんじょうまで、進化の

れきしを、ゆびでたどってみましょう。

進化の「道」をたどっていくと、「クジラとカバがなかま?」「トリはキョウリュウのいきのこり!」など、知ってびっくりな"つながり"がどんどん見えてきます。

図書室には勉強に役立つ本以外にも、さまざまな分野の本をそろえています。また、図書室ホームページから、利用登録(貸出券作成の申込み)や本の予約もできます。詳しくは、図書室ホームページをご覧ください。

大網白里市図書室

検索



大網白里市図書室 0475-72-8383 (保健文化センター2 階)
中部分室 0475-73-3337 (中部コミュニティセンター1 階)
白里分室 0475-77-2172 (白里公民館 1 階)



大網白里市図書室HP

2026.7

大網白里市図書室から みなさんにおすすめ

よんだことある？

小学校5・6年生

『わたしのカレーな夏休み』 谷口雅美/著
講談社



食いしんぼうで鼻がいいハルカは、横浜に住む小学5年生。

夏休みに大阪の商店街でスパイスカレー屋を営むおじさんのもとへ遊びに行き、仲良くなった少年たちとイベントに出すカレーの

新メニューを考えて、夏休みの自由研究にすることを思いついたハルカ。

どんなカレーができあがったのかな？

『ミャルル・ペローに出会った夜』

野中柊/作 PEIACO/絵
理論社



遠くから旅をしてきたねこのニッキは、不思議なねこミャルル・ペローと出会う。

ミャルル・ペローに誘われてたどり着いた先は、くつのミュージアム。世界中のいろいろな時代のくつが展示されている。そこには有名童話のくつがあり、不思議な出来事が起こっていく。

『レーナとヒキガエルの紳士』

ミリアム・ダーマン&ニコラ・ディガール/文 ジュリア・サルダ/絵 河野万里子/訳 徳間書店



町と森をつなぐ川で渡し守をしているレーナは、ある日、紳士のかっこうをした巨大なヒキガエルの「クアクア卿」と出会う。ある日、森の奥にあるクアクア卿の館に招待されたレーナが見たのは、動物の姿に変えられてしまった町の人々だった。

レーナは彼らを救うことができるのか。

『読書感想文が終わらない!』

額賀澤/著 satsuki/絵 ポプラ社



「読書感想文ってさ、自分のことを書く作文なんだよ」。夏休みに小学校の図書室に行ってみると、変な中学生がいた。読書感想文の書き方を教えてくれるらしい。

感想文なんてめんどうとか、時間のむだとか思っていた子どもたちだけど、書いてみたら不安やさみしさ、モヤモヤした気持ちがちょっとだけ軽くなっていく。

『ジャンボタニシに負けるな！

新たな米づくりへの挑戦』

谷本雄治/著 あかね書房



田んぼや用水路で見かける蛍光ピンクのつぶつぶ、その正体はジャンボタニシの卵!若い稲を食べ、田んぼを荒らし、米づくりにとって大きな障害になっています。農家から相談された千葉県立農業大学校の清水先生は、ジャンボタニシを倒すことを決意します。

東金市を舞台に、新たな米づくりを目指して、知恵と工夫で挑むノンフィクション。

『ばんざい!ぼくらのフシギ島』



辻堂ゆめ/作 主婦の友社

親元を離れ1年間、不志木(フシギ)島へ留学に来た6年生の涼くん。背が高く大人っぽい才津くんや涼くんが住むこと

になった〈出口寮〉の娘・美野里ちゃんと、つぎつぎに起こる、きみょうなできごとのなぞを解いていきます。

島の豊かな自然やおいしい食べ物、温かい人たちとの交流をとおして成長していく涼くんの物語です。

『大人も知らない みのまわりの謎大全』

ネルノダイスキ/著 ダイヤモンド社



「標識の絵って、よく見ると怖い」「電線に止まってる鳥は、なんで感電しないの?」「ビルの上のクレーンって、どうやっておろすの?」世界は驚きと謎に満ちている!

宇宙人ふたりが地球の住宅街をおそろおそろ旅しながら、地球人のみなさんも知らない51の謎を解明する本。知的好奇心をもつ全人類必読の書です。



『ランドリーの迷子たち』 シャネル・ミラー/作・絵 ないとうふみこ/訳 ほるぷ出版

ニューヨークでコインランドリーを営む両親は忙しく、夏休みなのにどこにも行けないマグノリア。カリフォルニアから引っ越してきた少女アイリスと出会い、街の案内がてら店に忘れられた「片方だけのくつした」の持ち主を探しに出かける。

マグノリアは、持ち主を見つけていく中で、周りの人々の新たな一面を知っていく。

『捨てられる魚たち』

「未利用魚」から生まれた奇跡の灰干し弁当ものがたり



柳木春幸/著 講談社

灰干し弁当って知っていますか? 漁師がとった魚のうち、見た目が悪い・調理の仕方がわからないなどの理由で捨てられてしまう魚を、おいしく食べられるように鹿児島

県の桜島の火山灰を使って作られた人気の駅弁です。

フードロス問題を解決し、伝統的な灰干し技術による駅弁作りにいどんだ料理家のおはなし。

『図書だよりとひみつのノート』

赤羽じゅんこ/作 はらぐちあつこ/絵 さ・え・ら書房



『図書館だより』づくりに取り組むことになった陶子。いつも相談にのってくれる親友の千絵梨の様子がおかしい。最近、陶子と違っていることが多くて、千絵梨に「友達でいられない」と言われてしまった。

違っても友達でいたいから、違うからこそ思いやりたい。陶子のたどりついた答えとは。

図書室には勉強に役立つ本以外にも、さまざまな分野の本をそろえています。また、図書室ホームページから、利用登録(貸出券作成の申込み)や本の予約もできます。詳しくは、図書室ホームページをご覧ください。

大網白里市図書室 0475-72-8383 (保健文化センター2階)
中部分室 0475-73-3337 (中部コミュニティセンター1階)
白里分室 0475-77-2172 (白里公民館1階)

大網白里市図書室

検索



大網白里市図書室HP

2026.7



大網白里市図書室から みなさんにおすすめ

よんだことある？

中学生

『王様のキャリー』 まひる/著 講談社



中学2年生の勝生は、「王様」とあだ名されるeスポーツプレイヤーの「lion」にあこがれている。

勝生は病院で偶然 lion 本人と出会うが、彼はリオという名前の勝生と同年の少年で、車椅子に乗っていた。オンラインゲームでの協力プレイを通じて、次第に打ち解ける2人だったが…。

『僕の仕事はごみ清掃員。』



滝沢秀一/著 河出書房新社

そもそもごみとはなんだろう？
生きているかぎり一生付き合う
ことになるごみの話。

ごみ清掃員という仕事を通して、生活と社会、人を見つめてきた著者による、おもしろくてためになるごみの特別授業！

『感じてみよう時間の長さ 1分から100年まで』



レイチェル・ウィリアムズ/文 レオニー・ロード/絵 竹内さなみ/訳 ほるぷ出版

もし、あなたが78年生きるとしたら、夕日は何回見られると思う？この本は、あなたのまわりでおこっているできごとには、時間がかかるということを教えてくれる本。

1分から100年まで、それぞれの時間にどんなことがおこっているのか、生き物や自然がどんな風に時間をかけて変化しているのか考えてみよう！

『世界の終わりが来るまえに』

アンナ・ウォルツ/作 野坂悦子/訳 フレーベル館



夏休み、列車に乗り一人でおばさんの家に行く中学生のエレナ。エレナは、スマホを列車の中のゴミ箱に捨て、ハサミで髪の毛を短く切りました。白い馬に乗り、非常用リュックを背負い、

世界の終わりに備える中学生のアトラス。

現実世界で居場所を失った二人は、嵐の晩にわかり合います。悩みを抱え傷ついた人たちの前進の物語。

『しずくと祈り「人影の石」の真実』

朽木祥/作 小学館



広島平和記念資料館に展示されている「人影の石」。この影となった人は誰なのか？原爆投下によって失われた命や残された人々の思いをたどっていく、事実に基づいた物語。

当時の記憶が薄れつつある現代において、戦争などの歴史について学ぶだけでなく、平和の大切さや命の尊さについて深く考えるきっかけを与えてくれる作品。

『自分を信じる勇氣』 岩井俊憲/著 誠文堂新光社



劣等感は自信をつけるためのかけがえのない友。アドラー心理学を基に、自分の長所も短所もありのままの自分を受け入れ、短所や悩みなどのマイナスと感じていること

をプラスとなる長所や好機なのだと発想転換する。

10代の思春期特有の問題や悩みに寄り添い、未来を切り拓く自信と勇氣を与えてくれる1冊。

『ぼくたちの卒業写真』 天川栄人/作

くまおり純/絵 文研出版



学年一の人気者・星野の提案で、人付き合いの苦手な写真館の息子・蔵木は卒業アルバムの写真を撮ることをしぶしぶ引き受ける。不登校や車椅子の同級生らとレンズ越しに向き合

い、次第に皆の意外な一面が見えてくる。

偏見を捨てて「その人自身」を理解する重要性を描き、他者との関わりと多様性の本質を問いかける作品。

『13歳からのデータサイエンス サッカー少年のスタメン奪還プロジェクト』

稲田修一/監修 ナツメ社



データを集めて分析し、課題解決に役立てる時に使う科学を「データサイエンス」といいます。この考え方は、ビジネスだけでなく勉強やスポーツなど、日々の生活にも役立ちます。

データサイエンスを使ってサッカー部のレギュラー奪還に挑戦する中学生の物語を通して、基本の考え方を一つ一つ丁寧に解説していきます。

『くらべる東西』 おかべたかし/文 山出高士/写真 東京書籍



うどんやおでんの出汁が関東と関西で違うというのは知られているが、他にも身近に違いがあるのを知っているだろうか？

いなりずしやだるま、ひな人形、落語家など…常識だと思っていたものが実は関東特有のものだった！

いろんな東西の違いを写真で比較できる一冊。こんなものも違うの!?!という発見や驚きを味わおう。

『サフィヤの戦争』 ヒバ・ヌール・カーン/作 児玉敦子/訳 静山社



パリにあるイスラーム教の寺院に暮らす少女サフィヤの夢は探検家。ナチスドイツにおびやかされ、友だちもパリから避難していく中、大人たちがユダヤ人を救うために動いていること

を知ったサフィヤは、その活動を手伝うことを決意する。

第二次世界大戦中のパリで本にあった出来事をもとにした物語。

図書室には勉強に役立つ本以外にも、さまざまな分野の本をそろえています。また、図書室ホームページから、利用登録（貸出券作成の申込み）や本の予約もできます。詳しくは、図書室ホームページをご覧ください。

大網白里市図書室 0475-72-8383（保健文化センター2階）
中部分室 0475-73-3337（中部コミュニティセンター1階）
白里分室 0475-77-2172（白里公民館1階）

大網白里市図書室

検索



大網白里市図書室HP

2026.7